

【秋季非常招集訓練】実施

飯田市消防団第11分団（石井壮 分団長）は、川路地区内の火災を想定した【秋季非常招集訓練】を実施し、川路まちづくり委員会も参加したので、報告します。

と き：令和5年9月27日（水）午後7時～

場 所：川路浄化センター公園トイレ

内 容：

- ・不審火により火災が発生し通行人からの119番通報で出動、消火活動開始。
- ・安全推進委員は、非常線を張って安全を確保。
- ・防災川路による消火栓～大明神多機能車への中継送水。
- ・川路分団車両による河川（自然水利）から取水しての送水。
- ・日赤奉仕団・救護班による負傷者の救護。



川から取水：川路分団車



防災川路の中継送水

6月に行われた春季非常招集訓練と違って、今回は暗闇の中、照明の明かりの下で行われました。

訓練では照明が準備されましたが、実際の現場では、夜昼関係なく照明も十分でない中での即応態勢が要求されます。

また、現場の環境が異なるなか

で、一つ一つ安全で確実な動作、団員の連携が求められます。



放水開始！



大明神多機能車：中継送水



日赤奉仕団・救護班の訓練

今回の訓練に参加して分かったのは、事前に関係諸団体との役割確認を行っていること。

そして、役割を遂行するために各団体内で訓練を行い、その結果が当日の全体訓練の結果となって現れていることです。

※中島良彦会長の講評で、飯田市消防団第11分団の日頃の活動により、川路の安心・安全な生活ができることにお礼のことばがありました。

※多くの関係団体が協力して、連携のとれた訓練ができました。

※消防団員はまだまだ少なくて苦勞をしているとの石井団長の言葉がとても気になっています。

訓練翌日早朝、上村で建物火災が発生した旨の防災無線で目が覚めました。これからの季節、空気の乾燥により火災が発生し易くなります。改めて、消防団のお世話にならないように注意したいです。



地元：六区長 塩澤太一さん 講評

【第1回ニタ井地区農業振興課題検討会】実施

まちづくり委員会（中島良彦会長）は、本年度の重点実施事項として5つの項目を挙げています。

1. 防災・減災事業
2. 川路の人口 2,000 人、小学校 1 クラス 20 人の確保
3. **農業振興**
4. 里山整備事業
5. 脱炭素先行地域

今回、**ニタ井地区**の地権者・耕作者にご参加いただき、**農業振興会議（関島道明会長）と農業振興課題検討会を実施**したので報告します。

⊗ニタ井地区とは、上井と下井の二つでニタ井と言います

と き：9月28日（木）19：00～

場 所：八区公民館

参加者：地権者 耕作者 地権者&耕作者 農業振興会議の役員 八区正・副区長 まちづくり委員会 3 役 センター長 合計：25名

内 容：



ニタ井の農地エリア

1. ニタ井地区過去2年間の農業（水田耕作）について課題を清水勝弘さんから説明されました。



大勢の参加で有意義な会議でした

- (1)上井は、水路の漏水等により安定した水量が無く米作りが困難。
- (2)農振地域の土地改良、修繕はどこが実施するかわからない。
- (3)ニタ井地区は斜面が多いのが特徴で、水の漏水問題で耕作放棄地となっている。
- (4)取付け道路が狭く、大型機械を搬入できない。
- (5)水田は耕作放棄されると1～2年でくるみの木等が繁殖し手が付けられなくなる。

(6)関島晟さんには、長年の耕作者としての経験があり、ニタ井地区の農地・景観を大切に守ろうと稲作全般・農機具使用方法等のご協力をいただけてきました。

2. 地権者からは、高齢者が多くなっており希望者がいれば譲渡も考えとの声もありました。

3. 現在、耕作放棄地になっているところは、農振農用地であり申請しOKが出ないと建物の建築などができないことも分かりました。

4. 地権者個々の農地が狭く、機械利用に難があり効率が悪いとの意見。

5. 耕作放棄地は一旦荒れると元に戻すには5～6年要するので、回復は無理との意見。

よって、耕作放棄地を他の用途に利用する案は、良い案があれば賛成する地権者が多数でした。

6. 現在耕作中の田んぼに関しては、数年後に耕作できなくなる地権者が多いが、農道の拡幅等を検討して耕作放棄地をこれ以上増やさないように、水田の維持を最優先で検討します。



地権者 耕作者 立場は違えど課題を共有

・新しい力

暗い話ばかりではありません。ニタ井の田んぼで新たに農業を始めた方がいます。

木下智裕さん（中島良彦会長の従弟）です。今回の検討会にも参加されました。

耕作放棄地にならないように3名の所有者の田んぼを耕作しています。また、周囲の荒廃地に生えている樹木・雑草の処理にも協力をいただいています。

・今後について

今回参集のメンバーを中心に「ニタ井農地管理組合」の設立等を検討して、課題解決に向けて関係者全員で検討を進めます。